

せたがや 町総連だより

第54号

発行 世田谷区町会総連合会

世田谷区若林4-31-9ポライト第2ビル202

☎・FAX 5481-3456

編集 情報誌編集委員会

編集委員長 堀江 義之

あけましておめでとうございます

世田谷区町会総連合会 会長 三羽 和彦



会員の皆様にはすこやかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、世田谷区町会総連合会の事業につきまして、格別のご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

昨年の総会で会長に就任いたしました三羽と申します。

町会・自治会の更なる活性化と、より良い地域社会の実現のために取り組んでまいりますので、ご協力の程よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの変異株の感染急拡大により、健全な社会生活や経済面で、先の見とおしが困難な状況にあります。

3回目のワクチン接種の方も進んでおりますが、お互い様気を緩めずに、感染対策をしっかり行っていくことが、収束への最善の方法だと思います。

皆様、どうか健康には注意いただくようお願いします。

現在、当総連合会には、194の町会・自治会が加入し、町会・自治会相互の親睦と協調関係の促進、情報交換や区と町会・自治会の連絡調整等を行っています

また、町会・自治会活動の活性化と加入促進に向けて、区と協力関係のもと様々な取り組みを行っています。

このコロナ禍において、当総連合会の活動にも影響を与

えております。昨年も総会や常任理事会等の役員会の書面開催、例年恒例の新年親睦交流会も見送ることとなりました。

それに代わる常任理事会、理事会を、1月6日に開催し、久しぶりに役員の方皆さんにお会いできたことが大変嬉しく感じる事ができました。

コロナ禍における新しい日常生活も長くなりましたが、町会活動や運営面でのやりにくさを少しでも軽減するうえで、町会総連合会において、昨年より、オンラインに向けた活動の取り組みを始めました。ウェブ会議の体験会やスマートフォン講習会等を地域で行いました。

今後も従来通りの、人と人をつづじてのコミュニケーションを基本としつつ、現在の社会状況に対応した取り組みを皆さんと共に検討し、活動に生かしていく所存でございます。

今年も町会総連合会は、会員相互で助け合い、「知り合い」「ふれ合い」「支えあい」の理念に基づき、安全で安心な住みよい世田谷のまちづくりをめざして参ります。

結びにこの1年の皆様の更なるご健康をお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

新年挨拶

世田谷区長 保坂 展人



新しい年の始まりをおだやかに迎えられましたこととお慶びを申し上げます。

旧年中は区政の推進にあたり、多大なるご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。

昨年開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、世田谷ゆかりの選手が大活躍し、JRA馬事公苑での馬術競技や、大蔵運動公園でのアメリカ合衆国選手団キャンプの実施等、多くの記憶を残しました。

世田谷区町会総連合会主催の「町総連トークイベント」の実施など、町会・自治会の皆さんには東京2020大会の機運醸成にご尽力いただきました。深く感謝申し上げます。

新型コロナウイルスの影響により、町会・自治会の皆さんにおかれましては、思うように集まることができないなど、ご活動が難しい状況かと思えます。そのような中でも皆さんが独自の工夫を凝らし、地域交流、防災、交通安全、環境美化などの様々な活動を通して地域を支え続けていただいていることが、世田谷区の地域コミュニティの基盤になっています。ご苦労も多いかと思いますが、これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、区では現在、地域行政を推進するための条例の策定を進めており、現在条例素案の検討を行っています。区は今後、まちづくりセンターが中心となり、地区の住民

の方や町会・自治会等をはじめとした関係団体等の間の交流や意見交換の機会を設け、より多くの方々が地区の活動に参加していただけるように取り組みます。

また、住民の方の困りごとの相談窓口として、ワクチン接種予約のお手伝いのように、窓口での相談や手続きが身近なところで行えるよう、まちづくりセンターの機能の充実を図ってまいります。

さらに、デジタル化社会に移行する中で、高齢者へのスマートフォン操作の支援も行なってまいります。

条例や計画については、昨年、各町会長会議においてご意見を伺いましたが、今後も、条例や計画の素案等についてのご意見をいただきながら、策定を進めてまいります。

世田谷区は、本年で区制90周年を迎えます。区制100周年に向けてのスタートアップの最初の年として、今後の明るい希望に満ちた世田谷区政のあり方を区民の皆様と考えていきます。

結びに、世田谷区町会総連合会の益々のご発展と、会員の皆様にとりまして健康で幸多き一年になりますことを心からお祈り申し上げまして、新春のご挨拶とさせていただきます。

地域情報

砧 地 域

安心と安全の団地を目指して

希望ヶ丘団地自治会 会長 柏 倉 正 勝

私たちの船橋地区は6つの町会・自治会（船橋会、船橋葭根会、フレール西経堂自治会、千歳台廻沢町会、船橋4丁目住宅自治会、希望ヶ丘団地自治会）から構成されています。当希望ヶ丘団地自治会は昭和47年に建てられました。世帯数は1,800を超え、UR都市機構団地としては世田谷区で最大規模となります。自治会は今年で創立48年目となり、構成員の急激な高齢化が進むなか、懸命に頑張っております。団地建設当初はバスの便も極めて悪かったのですが、交渉を重ねた結果現在は団地前から2社のバスで鉄道へのアクセスが可能となりました。

48年間の自治会活動のなかで地域との交流を深め、団地住民の安心と安全第一を心がけてまいりました。団地は2DKと1DKの小規模世帯が多くを占めるため、子どもが大きくなるとどうしても転居を考えざるを得ず、転出が多くなります。もちろん子どもだけが出て行き、親が残るケースも少なくありません。たとえ住む年月が短くとも、その間



希望ヶ丘団地外観

は楽しく過ごしてもらおうと様々なイベントを開催してきました。なかでも夏祭りや餅つき大会は地域の人気が高く、特に近隣のマンション住まいの方々からは大変に喜ばれております。船橋地区最大のお祭りである「ふれあいまつり」も当団地のすぐ隣が会場となるので団地をあげて参加し、お祭りを支えてきました。

団地の外観はコンクリートの塊のようでやや冷たい感じがしますが、希望ヶ丘公園、葭根公園という大きな公園に挟まれた地形は、緑豊かで新鮮な空気にあふれ、更に小学校が目と鼻の先ですので、子育てをするのにこれ以上の環境はないと胸を張っております。

しかしながら、ご他聞に漏れず当団地も高齢化による人材不足に悩まされており、防災訓練の際も高層建築ゆえの避難のむずかしさなどの課題も多いのですが、住民の方々の知恵と協力をいただきながら立ち向かっていきたいと考えています。



団地13階から見た希望ヶ丘公園

烏山地域

バンザイ給田町会

給田町会 会長 穴戸 安夫

給田の由来は、中世の荘園時代に領主から管理を命ぜられた人がその手当てとして受け取る田畑を意味する言葉から、村の名前に転化したものと言われています。調布市・三鷹市に隣接し、東西約1km、南北約2kmの内に、国道20号線と旧甲州街道が通っています。国道20号線は、前回の東京オリンピックの際に開通し、マラソンと競歩競技が行われました。この時、私は聖火ランナー随走者として参加しました。一昨年、記録映画「東京オリンピック」の上映会で保坂区長と対談し、当時のユニフォームを披露いたしました。

我が給田町会は、町会長以下11部門の副会長・部長が各1名で常任理事会を構成し、婦人部・青穂会・福寿会・成城消防団第四分団4部・成城交通安全協会と連携して町会を運営しています。町会加入世帯は1,360です。行事が盛んで、1月の新年会・成人祝いに始まり5月総会、6月古着古布回収、7月暑気払いと続き、8月子供落語会・盆踊り、9月敬老祝い、10月大運動会・六所神社例大祭、11月七五三祝いと古着古布回収、12月夜警・納会で一年を終えます。少子高齢化に伴い、成人祝い・七五三の祝いの対象者は年々少なくなり、敬老の祝いは増加しています。子供落語会は毎年8月の第4土曜日に実施し、柳家喬太郎師匠（古谷副会長の日大落研の後輩）をお迎えして、皆で楽しんでいます。3年前21回目を終えたところで、新型コロナウイルス感染予防のため中断しています。

多くの行事の中でも戦後まもなくから続いている「大運動会」は、老若男女問わず大いに盛り上がります。当初岩佐学園（現佼成学園）のグラウンドを借りていましたが、現在は烏山小・給田小にて一年交代で実施しています。町会開催の運動会は区内でも少ないと思います。賑やかで活気のある大会が一日も早く開催できるよう願っています。

給田の歴史を振り返ってみると、此処には普門院千手観音堂があり、徳川三代将軍家光の側室お玉の方桂昌院（五代将軍綱吉の生母）の碑が残っています。この観音堂では毎年盆踊りが行われ、多くの方々がお線香をあげ戦没者の霊を慰めています。将軍家ゆかりの場所のため、葵の御紋が入った幕・常香炉も見られます。旧甲州街道町内中心池亀宮司宅には、新一里塚の里程標もあります。童謡「ずいずいずっころばし」をご存知ですか？江戸時代、京都の宇治新茶を江戸に献上品として運ぶ大名行列が給田を通りました。切り捨て御免の時代柄、庶民はこの横行を避けるためにこの童謡を作ったと言われています。「茶壺に追われてトッピンシャン」は、一行が通るとき手打ちにされないようピシャンと戸を閉め、通り過ぎるとようやく一息。「ぬかたらドンドコショ」からきているという説があります。給田には意外と歴史的な所もあります。皆さま、ぜひ一度足をお運びください。



町会大運動会



観音堂 常香炉

町総連ニュース

表彰

▼令和2年12月14日

全国自治会連合会表彰

山野井 崇二（前世田谷区町会総連合会会長）

※令和2年及び3年度新型コロナウイルス感染防止
により表彰式中止。

▼令和3年10月1日

東京都功労者表彰

堀江 鉄弘 理事（太子堂4丁目西山町会会長）

小松 岑生 前理事（下馬2丁目北町会会長）

後藤 茂 理事（東玉川町会会長）

▼令和3年11月19日

厚生労働大臣表彰

西崎 守 副会長（祖師谷住宅自治会会長）

◎町総連情報誌編集委員会名簿

役職名	氏名	所属町会・自治会名
委員長	堀江 義之	若林町会
委員	網敷 光剛	弦巻町会
〃	上野 民雄	北沢中央自治会
〃	福田 恒夫	松原1丁目町会
〃	松本 順一	玉川町会
〃	山本 紀子	東深沢町会
〃	岩波 桂三	法人格成城自治会
〃	綱木 雅敏	フレール西経堂自治会
〃	高橋 宗和	成城通りパークウエスト自治会
〃	松尾 秀好	児ヶ谷会

※次号は世田谷地域・北沢地域・玉川地域の情報を掲載します。

編集後記

昨年9月末日をもって緊急事態宣言及び蔓延防止等重点措置宣言が解除され、感染者が極端に減少しているが、新たにオミクロン株が発生するなど、コロナ禍が終息したのではない。引き続き3密回避、マスク着用、手洗い等を励行し、第6波防止に努めなければならない。

コロナ禍は、町会活動に大きな影響をもたらした。

我が町会では令和2・3年度の2年間、盆踊り大会、秋祭り、敬老会、防災訓練の中止をはじめ、各部・ネットワーク活動も中止、縮小したので、令和2年度は町会費を不徴収とした。このことは、町会活動の目標である「知り合い、ふれ合い、助け合う地域コミュニティ」醸成に大きな課題となった。

又、コロナ禍で大震災が起こったら、現在の防災システムが通用するだろうか。弱者救済、避難所運営等、特に避難所は密、プライバシー等行政を交えて再検討が必要ではないか。

コロナ禍は多様な問題を町会に投げかけている。「町総連だより」が各町会の活動、課題等の情報交換の場となれば幸いです。

編集委員長 若林町会 堀江 義之

世田谷区町会総連合会のホームページ

世田谷区町会

検索

※二次元コード



バーコードの一種で、携帯電話で撮影して、簡単にホームページを見ることができます。